

## 令和 5 年度 総合情報基盤センター研究開発報告書

2024 年 5 月 27 日

研究開発課題	アスリート学生を中心とした学びや学修理解度の可視化支援ツールに関する研究 II		
研究開発代表者	所属	職位	氏名
	芸術学部 写真・映像メディア学科	教授／入試部長	百瀬 俊哉
研究開発分担者	所属	職位	氏名
	学生部	学生課長	一ノ瀬 大一
研究開発協力者	所属	職位	氏名
	財務部	主任	植村 浩太郎
	大学改革推進本部	係長	武谷 信吾
研究開発期間	2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日		
研究開発成果 ※開発内容の実績を含む	<ul style="list-style-type: none"><li>本研究開発は、体育会系サークルに所属する学生（以下、「アスリート学生」という。）の「学業と競技の両立」を目的に開発した支援ツールである。</li><li>本件は、令和 3 年度の総合情報基盤センター研究開発において採択され、アスリート学生との定期的な面談において確認する「学業」と「競技」の両面に関する情報をシステム上に集約した汎用性の高いツールとして開発の上、運用を続けてきた。</li><li>この支援ツールは、独自のシステムであることから、アスリート学生に対する支援を行う上で改良すべき事項を適時反映できる高い利便性がある一方、学生教育支援・事務情報システム（K's Life）とのデータ自動連携が図られていないことから、アスリート学生本人に関する既存の情報（リアルタイムな学業成績や授業出欠状況）を別途情報出力（紙媒体）の上、システムと併用して確認する必要があり、面談者（教職員）の工数軽減に繋がっていない点が運用上の課題として浮彫りとなった。</li><li>上述の課題を解決するため、今年度の研究開発において、アスリート学生が学業不振に陥らないための重要な指標となる「出席率」及び「学業成績」に関する情報を、コストを軽減した上でシステムにインポート（CSV 形式）可能な新機能を実装した。</li><li>この機能実装によって、学生及び教職員の負担軽減（業務効率化）を実現し、利用対象学生数の拡大や面談の質向上へと繋がった結果、1 年次終了時の修得単位数 10 単位以下 0 名という、本開発における重要達成指標である「学業と競技の両立」に関する目標達成に繋がる結果となった。</li></ul>		
開発目的の達成度 (残された課題など)	達成目標に対する実績 ①学業と競技の両立（1 年次終了時の修得単位数 10 単位以下）0 名→0 名【※達成】 ②教職員の作業時間削減（完全ペーパーレス化）20%以上→約 20%【※達成】 ③利用対象学生数 50 名以上→72 名【※達成】		